

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 27 年 3 月 17 日（火）（19：00～20：00）		
実施場所	犬伏集落開発センター	参加人数	14 人
参加対象	伊沢地区振興会		
懇談内容	<p>【1. 発言者】</p> <p>伊沢和紙工房「櫨」を子どもたちが松茸太鼓の練習場所として使っている。冬になると入口の法面の雪が雪崩を起こす。子どもが雪崩に巻き込まれてからでは手遅れになる。「冬の陣」に向け冬期は練習が盛んに行われるので、工事をお願いできないか。</p> <p>【市 長】</p> <p>大変危険な場所であると考えられる。市道であればぜひ、確認し対応をしていく。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>集落の水道が漏水を起こし、薬師トンネルの水を利用した仮設配管となっている。現在の配管がかなり老朽化しているうえ、仮設配管の水質の方が良いことから、今後もこの水を利用することはできないか。</p> <p>【市 長】</p> <p>そちらの水の方をご希望するということでよろしいか。その件に関しては可能性があるかどうかすぐに検討していきたい。</p> <p>【3. 発言者】</p> <p>松代中学校の卒業式や小学校の卒業式に参加したが少子化が進んでいる。このままだと市、県、国の経済力、国力が落ちる。移住促進だけでは十分ではない。子どもの減少による将来の不安を強く感じる。</p> <p>【市 長】</p> <p>なかなか難しい問題であると認識している。中心市街地活性化の取組みの中で、20 代、30 代の若者の感性が非常によい。私自身も含め、都会に魅力を感じ地元を離れる人たちが多かったが、今の若者たちはそうではなく、自分たちの親は都会で生活しているが、おじいちゃんはおじいちゃんが多い。親を飛び越して孫をこの地へ連れてくるといった可能性もある。こうした感覚は 10 年前には無かった。</p> <p>公明党の山口代表が、十日町市の取組みを取り上げながら参議院での代表質問を行った。その中で「大地の芸術祭」、塩ノ又のレスリング道場に触れていた。安倍総理は地方創生に関して漠然と考えていたらしいが、当市の取組みを聞いたことで、具体的なことがイメージできたようだ。少しずつ当市の取組みが評価されている。実績はまだ足りないが、</p>		

少しずつ援軍が増えていると感じている。

【4. 発言者】

子どもを田舎の学校に入れたいという人もいる。

【市長】

松代小学校を改築し、松代は1校になった。松之山では、松里、浦田も松之山小と統合した。松之山中学校の改築については、小学校のすぐそばに建てるという話も出ており、これによって松之山小学校と中学校は玄関がつながるようにできる。そうなると小中一貫教育ができる。

市内から小中一貫教育を希望した場合、子どもに伸び伸びとした教育を受けさせたいので、周辺の方の学校が良いということになれば、そちらに通わせるということもでき、面白い取組みになるかもしれない。

【5. 発言者】

- ① 火葬場付近の国道は雪が降ると、十日町から松代へ向かうトラックなどは、カーブがきつく上り坂になっており、スリップし止まってしまう。
- ② 火葬場から国道へ出る際、交通量が多く、雪壁で車両が見えず非常に危険である。カーブミラーも凍結し確認ができない。

【6. 発言者】

伊沢橋からトンネルまでの急こう配の国道に断熱材のようなものが入り、今年はトラックが止まることは起きなかったのではないか。

【7. 発言者】

現在の坂を2メートルほど拡張し、大型車両が斜めになっても通れる幅があればよいと考えている。そのほか、蒲生の上り坂や千年のカーブ付近での除雪による渋滞等の問題もある。

【市長】 ※ 発言5. 6. 7に対して

振興局のお蔭で国道253号は非常に良くなった。しかし、まだ、問題があるようであれば地域振興会等で実態を把握していただき、市や県へ要望書を提出してほしい。

【8. 発言者】

苧島の集落センターの非常口階段が使えない状態であり、犬伏の集落開発センターの非常口階段はすでに取り外してしまった。市の建物であるので、改修工事は市で対応いただけるのか。

【市長】

市の建物と集落で建てた建物があり、現在、その区分けをすることに難儀をしているところである。旧松代町時代に建てた集落センターは市の物件であり、市で対応する。